

平成27年度予算決まる

一般会計予算

94億1,566万円 (対前年度 17億63万円増)

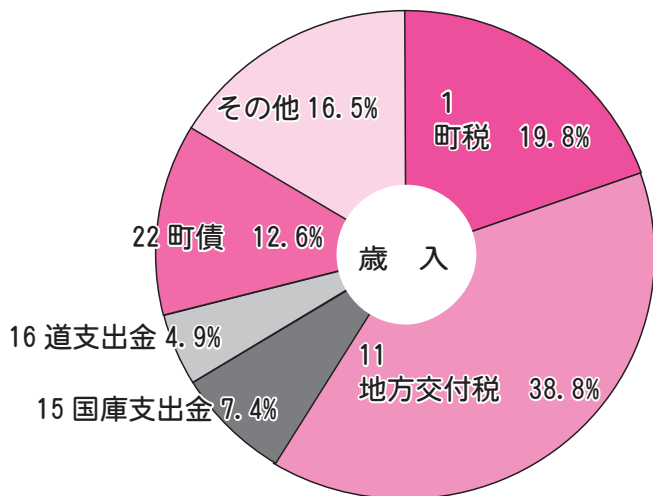
総額

154億7,004万円 (対前年度 18億9,737万円増)

議会は、議長を除く全議員で構成する平成27年度当別町各会計予算審査特別委員会（予算委員会）を設置しました。

予算委員会は、付託された一般会計と5つの特別会計歳入歳出と水道事業会計の平成27年度予算および関連する議案等について、平成27年3月13、16、18日に審査を行い原案のとおり可決すべきものと決定しました。

歳入



歳入予算額	
1 町税	18億6,296万円
2 地方譲与税	1億4,135万円
3 利子割交付金	327万円
4 配当割交付金	323万円
5 株式等譲渡所得割交付金	57万円
6 地方消費税交付金	2億8,914万円
7 ゴルフ場利用税交付金	2,594万円
8 自動車取得税交付金	1,629万円
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	885万円
10 地方特例交付金	442万円
11 地方交付税	36億5,601万円
12 交通安全対策特別交付金	388万円
13 分担金及び負担金	8,405万円
14 使用料及び手数料	1億4,501万円
15 国庫支出金	6億9,498万円
16 道支出金	4億6,142万円
17 財産収入	1,205万円
18 寄附金	2億円
19 繰入金	4億6,093万円
20 繰越金	5,000万円
21 諸収入	1億503万円
22 町債	11億8,630万円
歳入合計	94億1,566万円

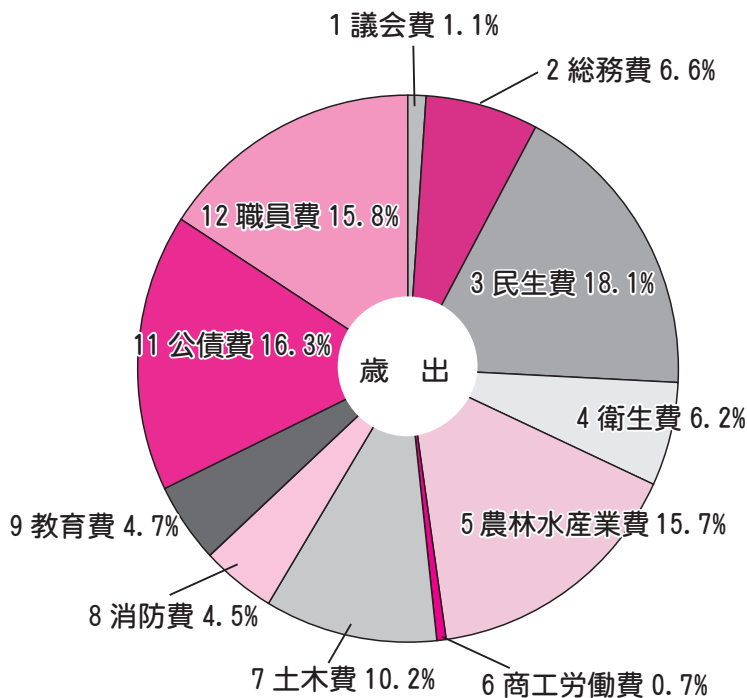
※1万円未満は四捨五入

☆用語解説

○町税には、①町民税②固定資産税③軽自動車税④市町村たばこ税⑤入湯税⑥都市計画税があります。

○地方交付税とは、地方公共団体の財源の不均衡を調整し、どの市町村に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するものです。

歳出



項目	金額
1 議会費	1億389万円
2 総務費	6億2,050万円
3 民生費	16億9,974万円
4 衛生費	5億8,637万円
5 農林水産業費	14億8,008万円
6 商工労働費	6,965万円
7 土木費	9億5,556万円
8 消防費	4億2,800万円
9 教育費	4億4,384万円
10 災害復旧費	5千円
11 公債費	15億3,833万円
12 職員費	14億8,470万円
13 予備費	500万円
歳出合計	94億1,566万円

国民健康保険	25億6,221万円
後期高齢者医療	1億9,934万円
介護保険	13億5,941万円
介護サービス事業	6,906万円
下水道事業	9億4,626万円
水道事業	9億1,810万円

平成27年度 当別町各会計予算審査特別委員会 (3月13、16日) 主な質疑内容

総務費
質問者 柏樹委員

Q ふるさと納税の記念品として、1億円を予算化しているが、支払い方法は一括か。またその方法は。

A 今年度は2億円の寄付を想定し、うち1億円を記念品負担金として計上する。各事業者ごとに記念品の数を発注し、事業者から直接寄付者へ記念品を送付する。月単位で事業者から町へ、請求が来て、支払う。

Q チェック体制は。

A 事業者から負担金の請求の際に、運送会社の発送伝票の提出を義務付け、チェックしている。

農林水産業費
質問者 秋場・小早川各委員

Q 当別町鳥獣被害対策協議会負担金は、地元猟友会の満足の金額となっているか。

A この会は、農協に事務局があり、出勤は協議会から猟友会へ依頼し駆除をするので、直接町から猟友会へ補助金を出しているわけではない。

Q 青年就農給付金事業の対象者は何名か。多面的機能支払交付金は除雪費としても向けられているのか。

A 青年就農給付金事業は、3名でうち夫婦1組。多面的機能支払交付金は、農地に隣接し、除雪が入っていない町道にかかる雪割りの経費である。中小屋、獅子内が該当地域となっている。

土木費
質問者 西村・柏樹・後藤・島田・市川・秋場各委員

Q 平成27年度の除排雪の変更点は。

A 早めの排雪の実施と近場の雪堆積場の拡充に向けて、前年に引き続き効率化と経費節減、地域負担の軽減の立場で進めていきたい。

Q 生活道路の早めの排雪時期の決定は町が主体となるのか。

A 平成25年度以降、幹線道路、生活道路の区分をなくし、排雪作業を行ってきた。今後も作業効率を優先し、町が主体となって進めていく。

Q 樺戸の雪堆積場は比較的早いうちに閉まってしまったが、拡大はしないのか。

A 樺戸の上流側の拡大、もしくは他の近場の新規開設など雪堆積場で困ることがないよう、河川管理者等と協議し開設を行っていききたい。

Q 行き止まりの私道、町道の排雪の考え方を伺う。

A 町道は、除排雪を行い、私道は、除雪だけを行う。ただ私道であっても家屋が連たんしているなどの一定の条件があれば排雪を行っている。

Q 防雪柵の設置及び撤去作業委託の内容は。秋と春に行う柵の開閉の支出科目は。

A 防雪柵の委託は、町道17路線、15,399mの設置、撤去業務を実施する。柵の開閉は修繕料の中で点検等を行いつながら計画的に行っている。

Q 現在の管理している公園の数と何ヶ所委託しているのか。また、町内会に委託している件数と内容は。

A 建設課で管理している公園は、82ヶ所。うち公園管理として、町が委託しているのが24公園。北海道から委託を受けている公園が1公園で、含めると25ヶ所。町内会へは58ヶ所委託、芝刈り、草刈り、ごみ拾いをお願いしている。

Q 町内会にお願いしている草刈りやごみ拾いなど、高齢化していく町内会の負担軽減についての町の考え方は。

A 貸与している草刈り機の増設、燃料費等の予算措置、人的にも優しい除草剤の予算措置などで、負担軽減につなげていきたい。

Q 公園管理費予算増の要因は。都市公園の数は。

A 公園施設の町寿命化計画の増によるもの。都市公園は16公園。

教育費

質問者 柏樹・桐井・後藤・島田各委員

Q 総合教育会議の実施が新教育委員会制度の中で出てくるが、予定回数は。

A 協議、調整する事項が教育行政大綱の策定や教育の条件整備など、重点施策となっているので、年数回、4月以降に開催を予定している。

Q 教育委員会の色々な審議等は公開されるのか。

A 審議等について透明性を図っていききたい。

Q 27年度もスクールバスに地域の住民が便乗してもいいのか。

A 一般の住民の方々も利用できる。

Q 小中一貫教育の方針をまとめるときは、議会でも議論ができるよう時期の配慮を検討してほしい。

A 今後議会での議論も必要なので、間に合わせるようスケジュール管理をしていく。

Q 弁華別小学校跡の利活用の検討について、保存前提の検討か、取り壊しも含めての検討か。

A 保存するのか、取り壊すのか、まだ決まっていないため、それも含め協議会等で検討していく。

歳入

質問者 柏樹委員

Q 個人町民税が対前年プラスで法人町民税がマイナスとなっている要因は。税の徴収方法は、26年と27年に違いはあるのか。

A 個人町民税増加は、給与所得者に伸びが見られる傾向にあるため、増額した。法人町民税は、26年度の税制改正により、税率が14.7から

12.1に変わったことによる減収見込みとしている。25年から実施したインターネット公売を中心にした徴収体制を27年も維持する。

介護保険特別会計

質問者 柏樹委員

Q 介護保険料について、全国的な値上げがあり、当別よりも高いところがあると思うが、近隣の引き上げ状況は。

A 3月4日、各市町村担当者への電話聞き取りによると

管内平均 5,002円

当別町 5,030円

北広島市 5,200円

札幌市 5,177円

江別市 5,060円

石狩市 5,050円

新篠津村 5,000円

恵庭市 4,800円

千歳市 4,700円

当別町は管内平均並みとなっている。

起草委員会

委員長	市川正
委員	石川和栄
委員	秋場信一
委員	西村良伸

※予算委員会の審査結果の報告文書を作成する委員会



平成27年度当別町各会計予算審査特別委員会
竹田委員長（写真左）桐井副委員長（写真右）